

ファイト

No.35

通算戦績:28戦22勝(7KO)5敗1分

4月10日 グレイテスト・ボクシング

8ラウンド判定勝ち

4月10日、大は後楽園ホールで開催された『第30回ザ・グレイテスト・ボクシング』のメインイベントとして昨年10月以来、6ヶ月ぶりのリングに登場した。対戦相手は新日本木村ジム所属の河野洋祐選手。戦績15戦10勝4KO4敗1分。大と河野選手は同じ29歳。日本フェザー級11位に位置し、日本ランカー同士の戦いだっただ。

河野選手と大は過去何度かスパーリングをしており、戦績のKO率からはパンチが弱く感じられるが、実際にグローブを交わしてみると強いパンチを持っているとのことだった。

試合展開

前半の1ラウンドから4ラウンドまでは常に大の左ジャブ、右ストレート、左ボディが随所に決まり、安定した大のペースで試合が進んだ。体格が一回り小さい河野選手よりも大のリーチは長く、距離を制御すれば河野選手のパンチは大まで届かない。

後半に入った5ラウンドには大のパンチで河野選手の頬が切れた。これ以降、流血が激しくなりレフェリーが試合を止めた段階で河野選手のTKO負けが決まるだけに、河野選手の攻撃が激化した。これに対して、大も逃げることなく真っ向から迎え撃った。

6ラウンド、7ラウンドは接近戦となり激しい打撃戦が展開された。会場は一気にヒートアップしてきた。接近戦になるとバッティングによるカットが心配されたが、今回はカットもなく安心した。前半でスタミナが切れるだろうと思った河野選手の頑張りは物凄く、迫力ある打撃戦だった。

試合は最終8ラウンドに入り、大は再び距離を取り冷静に戦った結果、判定は3:0(77:75、77:75、78:74)で大の勝利だった。また、試合中にクリンチが1度もないクリーンな戦いだった。

2018.4.10.後楽園ホール



大のコメント

判定3-0で復帰戦に勝利しました。やっぱり勝つことがボクシングの醍醐味です。本当、勝たなきゃ意味がないですね。結果が自分を立ち直してくれるもの。試合内容を反省して、さらに精進しまーす！今日はよく寝られる！また精進しますので、今後ともよろしくお願ひします。試合していただいた河野選手ありがとうございました。そして本当にたくさんの応援ありがとうございました！！

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)
 発行者: 岩井 淑
 住所: 〒262-0032
 千葉県花見川区幕張町4-2 LM3-104
 連絡先: Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825
 URL: http://kuchan.ec-net.jp/index.htm
 Mail: iwai-8man8@marble.ocn.ne.jp

2018.4.10.後楽園ホール



加藤トレーナーのコメント

今回は去年の最強挑戦者決定戦で負けてからの再起戦でした。そこで勝ち上がった源選手は先日、見事に日本チャンピオンになり、復帰戦というのはもちろん、源選手へのリベンジ、ベルト奪取を叶えるには絶対に負けられないとプレッシャーがあったと思う。

技術的には2、3週間前のスパーで一度、やってきたボクシングが崩れたけれど、そこから良く修正したと思います。

試合内容は相手の河野選手が素晴らしい、接近戦での打ち合いで後半追い上げられました。ただその中でもようやく地に足がついたボクシングが出来るようになってきた。

試合後、ビデオで確認したらまだまだ伸ばしたいところが明確に見つかったのでこれからが楽しみです。大、復帰戦勝利おめでとう！



応援



【声援1】O・Kさん

大君！おめでとうございます！今日の大君のファイトは私の素人目にも素晴らしく映りました。審判の採点は小差の判定でしたが、私は終始安心して観戦することが出来ました。まさに完勝です！その証拠に君の顔には目立った傷はありませんでした。このボクサースタイルが大君の求めているモノではないのかと思うのですが、次はいよいよタイトル挑戦！ガンバレ大君！

【声援2】M・Yさん

昨日の試合は、本当に緊張感のある試合でしたね。試合後の居酒屋での大君の顔を見て、激戦の後と感じました。なにはともあれ、勝利おめでとうございます。

おやじのひとこと

大はボクシング選手としてはベテランの域に入っている。ボクシングというスポーツは肉体的にも精神的にも過酷なスポーツであり、おまけに金銭的にも厳しい状況下のなかで選手生命は短く、選手でいる期間よりもその後の人生のほうが圧倒的に長い。

日々の厳しいトレーニングと試合を通して肉体を鍛え精神を高めるなかから人間性を豊かにし、選手生命を終えたあとの人生を豊かにするための人生修行のひとつとしてボクシングというスポーツを捉える必要があると思う。

過去に無敗のまま引退した世界チャンピオンはいたが、勝負である以上、敗戦は誰でも経験することである。重要なのは敗戦に打ちひしがれて目標を見失うのではなく、捲土重来を期す不撓不屈の精神であり、敗戦により心を折ることなく目標をしっかりと見定めて前進することが最も重要だと思う。今回は勝って良かった。(^^)